



Ilmari Tapiovaara

イルマリ タピオヴァーラ

1914 - 1999

1937年にヘルシンキ芸術工芸院デザイン科を卒業後、パリ万博視察のためにパリを訪れ、滞在中にル・コルビュジエ事務所でアシスタントとして勤務する機会を得ました。6ヶ月の勤務の後、帰国し最大手の家具メーカー Asko 社デザイン監修の役割に着き、多くの公共施設などのインテリアデザインに携わりました。

アアルトのデザインを賞賛し、そのコンセプトを受け継ぐようなデザイン活動を行いました。木材を素材とした家具に拘ったのもその考え方でその後ヘルシンキ大学で教鞭をとる傍ら、ミラノトリエンナーレで6つのゴールドメダルをとるなど輝かしい足跡を残しました。